

令和元年度 事務事業評価シート

事務事業名		中学校スクールカウンセラー					所管	教育委員会 指導課			
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	45	計画事業名	スクールカウンセラーの配置			事業の開始・終了年度			
	長期総合計画体系	[基本目標] あらゆる世代が生涯にわたって成長し輝くまちの実現 [施策] 7 児童・生徒の状況に応じた支援の充実					[事業開始] 平成 2 6 年度 [終了予定] - 年度				
	根拠法令等	その他	〔法令等名〕		なし						
	事業対象	直接の対象 : 区立中学校 最終的な対象 : 同上生徒、教職員及び生徒保護者									
	事業目的	スクールカウンセラーを配置し、生徒の不登校やいじめ、しつけや心の問題などの教育課題の解決を図る。									
	事業内容 [H30年度]	都費により週1日配置されているスクールカウンセラーに加え、区費により区立中学校にスクールカウンセラーを配置し、生徒へのカウンセリング、教職員・保護者への指導助言や教育相談を行い、各学校のカウンセリング機能を充実していじめや不登校等の問題解決及び早期発見に努める。									
	委託の有無	なし	委託内容		なし						
補助金の有無	なし										
事務事業の実績	種別	指標の名称	単位	R2年度	H28年度	H29年度	H30年度				
				目標値	実績	実績	実績	目標値	達成率		
	活動指標	1校あたり配置日数	日	36	36	36	36	36	100.0%		
	成果指標	不登校生徒の割合	%	0.0	4.4	5.0	4.6	0.0	-		
		相談件数	件	3,500	3,996	4,134	3,554	3,500	101.5%		
	決算額 (単位:千円)				H28年度		H29年度		H30年度		
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト (人件費など)			892		838		88		
		物にかかるコスト (物件費・維持補修費)			84		88		72		
		その他のコスト (扶助費・補助費など)			6,048		6,168		6,048		
		総経費			7,024		7,094		6,208		
財源項目 (単位:千円)	受益者負担額 (使用料・手数料・負担金など)			0		0		0			
	その他特定財源 (国や都の支出金・財産収入など)			0		0		0			
	一般財源 (区負担額)			7,024		7,094		6,208			
課題及び今後の進め方	課題を抱える生徒に関する相談内容は、多様化している。教員とスクールカウンセラーが連携し、それぞれの悩みを受け止め心のケアを施す必要がある。										
評価の視点	評価	評価の理由									
	必要性	3	都費による週1回のスクールカウンセラー配置だけでは対応が困難なため、区費によりスクールカウンセラーを配置し補完する必要がある。								
	効率性	3	専門的な知識を持つスクールカウンセラーが相談対応することで、効率よく効果が得られる。								
	手段の適切性	3	学校に年間を通じて同じスクールカウンセラーが決まった曜日にいることで、相談しやすい環境を提供している。								
目的達成度	3	不登校生徒の割合に大きな変動はないが、学校生活に不安や悩みを抱えている生徒のセーフティーネットになっている。									
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性					
教員とスクールカウンセラーが連携し、問題解決に向けて対応しているが、教育支援館の教育相談や子ども家庭支援センターとの連携体制をさらに強化し、より相談しやすい環境作りを検討する必要がある。						改善		拡大改善維持縮小廃止・終了			